

(案)

久米総合文化運動公園市民プール整備基本計画  
策定委員会からの意見書

～次世代にふさわしい新しい市民温水プールの整備に向けて～

令和5年 月 日  
津山市久米総合文化運動公園市民プール  
整備基本計画策定委員会



## 目 次

1. はじめに	2
2. 基本計画策定委員会の概要	3
3. 基本計画策定委員会からの意見	4

## 1. はじめに

本委員会は、津山市久米総合文化運動公園市民プール整備基本構想を踏まえた整備基本計画を策定するにあたり、地域住民などから広く意見を求め、計画に反映させるため、委員会設置要綱に基づき設置されたものです。

この委員会の委員は、地域住民代表など幅広い分野から選出され、様々な意見を聴取することができたと考えており、この意見書は委員会の中で最も多くの意見が出た内容を中心にまとめています。

今後は、聴取できた意見をベースとして「津山市久米総合文化運動公園市民プール整備基本計画」を策定し、次世代にふさわしい新しい市民温水プールが早期に完成するよう、期待しています。

令和5年 月  
津山市久米総合文化運動公園市民プール  
整備基本計画策定委員会

## 2. 基本計画策定委員会の概要

### 基本計画策定委員

所 属	役職等	氏 名	備 考
学識経験者	美作大学生生活科学部教授	小山 京子	委員長
地域代表	津山市連合町内会副会長	重松 正起	副委員長 第1回目～第3回目
		山田 誠	副委員長 第4回目～第5回目
高齢者代表	津山市老人クラブ連合会副会長	小林 秀孝	
子育て世代代表	津山市PTA連合会会長	佐野 彰彦	
幼児教育・保育代表	久米こども園園長	林原 郁恵	
久米市民プール 利用学校代表	久米中学校教諭	妹尾 出	
久米市民プール 利用学校保護者代表	久米中学校PTA副会長	國米 裕喜	
久米市民プール 利用者代表	市民プール利用者	池口 周治	
水泳施設・スポーツ振 興関連	津山市スポーツ協会副 会長	真木 茂	
健康増進施設関連	津山中央病院リハビリ テーション部副部長	石井 信	

### 委員会開催概要

回	開催日	主な内容
第1回	令和5年1月26日(木)	○久米市民プール整備基本構想について ○アンケート調査結果 ○サウンディング型市場調査結果 ○ワーキング調査結果 ○施設整備基本計画協議 ・施設整備基本方針 ・施設整備計画 ・事業運営計画
第2回	令和5年2月16日(木)	
第3回	令和5年3月24日(金)	
第4回	令和5年4月27日(木)	
第5回	令和5年5月25日(木)	

### 3. 基本計画策定委員会からの意見

以下の意見は、策定委員会の主な意見を種類ごとに分類したものです。

意見

1. 施設整備内容についての意見

意見

2. 公認プールと可動床を要望する意見

意見

3. 同規模の健康増進プールを要望する意見

意見

4. 現プールを継続運営しつつ新プールの建設を要望する意見

意見

5. 2年間休止の場合の意見

## 1. 施設整備内容についての意見

### 1. 利用者ニーズに対応し人と地域との交流を促す拠点施設となるために

- ①幼児から高齢者の様々な世代に使いやすく、健康増進にも配慮し、幼・小・中・高校生等が利用しやすく、水泳授業にも利用可能な施設と指導環境を整えていただきたい。
- ②中学校の水泳授業での利用においては、利用時間帯と移動方法を検討いただきたい。
- ③水深の浅い幼児用プールを整備し、親子で楽しめて、その後につながる施設としてもらいたい。
- ④トレーニングルーム・スタジオや多目的に使えるスペースを整備してもらいたい。
- ⑤屋外エリアには、噴水設備のような子どもが遊べる場所等、多世代が集まることのできるものにしてもらいたい。

## 2. 公認プールと可動床を要望する意見

### 1. 公認プールを必要とする理由など

- ①スポーツは競技力向上が課題となっており、競技力向上のためには近くに公式大会ができる施設が必要である。
- ②県水泳連盟からは、大会が特定のプールに集中し、他の公認プールを整備してもらいたいとの意向がある。
- ③久米に公認プールができなくても、競技力向上のため、公認プールは必要であると考えている。

### 2. 要望する公認プールの主な規模と岡山県内の現状や誘致可能な大会

- ①県大会以上を誘致するためには、シングル A 規格（水深 1.35m 以上）を備え、なおかつ水深 2m の 25m プールで 8 レーン以上が必要である。
- ②4 レーンごとに水深 0m～2m まで調整が可能な可動床機能を付加する。
- ③上記①②の規模を満たす施設は限られており、公式大会は県南の特定の施設に集中している。
- ④上記①②の規模を満たす施設であれば、小学生から高校生までの（津山市、美作地区等の）地方大会が年 5～6 試合、県水泳連盟からは年 3～4 試合、年間合計 10 試合程度の大会誘致が可能である。



### 3. 必要とされる駐車場台数と現状

- ①大会開催時は 200 台以上の駐車場確保が必要である。久米総合文化運動公園で休日に大会を開催した場合、久米支所駐車場まで活用すれば 400 台程度の駐車が可能である。

### 4. 可動床の有効活用

- ①水深が 4 レーンごとに分割調整できる可動床であれば、普段は 2 つの水深を活用することで多世代で多様なニーズに対応し、また、半分（4 レーン）を一般開放し、残りのレーンで水泳授業やスイミングクラブの合宿等を行うこともできる。
- ②公式大会時は泳ぎやすく記録の出やすい水深 2m に設定できる。（水深が深いと波の影響を受けにくい）
- ③可動床を整備することで、それぞれの立場の人に必要な水深に調整ができ、高齢者のフレイル予防や介護予防につながると考える。

### 3. 同規模の健康増進プールを要望する意見

#### 1. 公認プールの必要性

- ①公認プールではなく、小プールや大プールのようなレーンを複合的に整備し、それぞれの立場の人に使ってもらえばいいのではないか。

#### 2. 整備費用及び維持管理費について

- ①年数回の大会のために膨大な資金を投入して、可動床や観客席・ロッカールームを整備し公認プールを作るのは、維持管理費、費用対効果を考えても無駄ではないか。

- ②地域人口が減少する中、子育て政策などに費用配分したほうがよい。

#### 3. 県内他施設

- ①県内に申請すれば公認とされるプールがたくさんある中で、津山市に公認プールが必要なのか。

## 4. 現プールを継続運営しつつ新プールの建設を要望する意見

### 1. シニア会員など健康増進利用の継続を要望

- ①代替施設が無いまま2年間休止することは、健康増進利用のシニア会員など運動の機会を失うことになり、利用者は戻ってこないと感じる。高齢者の健康維持のためにも何とか延長運営をしていただきたい。

### 2. 子どもたちの水泳の場の提供継続を要望

- ①現在のプール会員数は618名、1歳から中学3年までの若年層が全会員の過半数を占めている。その子どもたちが2年間水泳をする機会を失ってしまうことになるため、現プールを必要最小限の修繕をし、何とか従来通り営業していただきたい。

### 3. 現プール部分以外での建設を要望

- ①2階建て等、現駐車場に建設できる範囲内のプールを建設し、2年間は何とか延長運営をしていただきたい。
- ②現駐車場に建設できないのであれば、クリーンセンター付近に新プールを建設し、焼却熱を利用した温水プールを建設すれば電気料金の大幅な縮減となり、SDGsに繋がる。

## 5. 2年間休止の場合の意見

### 1. 中学生への配慮を求める意見

- ①中学生の水泳授業が2年間できないことから、泳げない生徒が出てくるのではと心配している。その間、地域の小学校のプールを利用するなどしてプール授業ができる選択肢を作ってほしい。

### 2. 次世代のため理想的な施設を求める意見

- ①2年間は使えなくとも、次世代のことも考えての施設として欲しい。先般も5歳児の事故のニュースがあった。やはり小さい頃から水に慣れ、楽しく続け、競技会にも出られるようになるのが理想だと思う。

